



インターネット・ビジネス
支援サイト
ツール/ノウハウ

Gadget-Project
<http://gadget-project.jp/>

インターネット・ビジネス 1st STEP

[ドメインとサーバー]

基礎知識と取得時の注意事項

Free Giveaway Rights

フリー・ギブアウェイ・ライト

無償配布権付

- [YES] このファイルは、ご自由に配布して頂けます。
- [YES] あなたの商品、メルマガ購読、
アフィリエイト・プロモーションでの
ボーナスとして添付できます。
- [NO] アダルト・サイト、暴力的なサイト、
及び、一般的に不快に思われるサイトでの
配布を禁止します。
- [NO] 価格を付けての販売はできません。
- [NO] このファイルの一切の加工はできません。
- [NO] このファイルの利用、及び、不備等により生じた、
いかなる損害に対しても、
Gadget-Project は一切の責任を負いません。

Copyright Notice

コピーライトについて

このファイル内容全てにおいて、
Gadget-Project ガジェット・プロジェクトによって、
コピーライトされています。
全ての権利は、全世界でリザーブされています。

このファイルのオリジナルは、
以下のサイトの、
フリー・ダウンロードのページにて配布しています。

サイト : **Gadget-Project**
<http://gadget-project.jp/>

配布に関して判断が付かない時、不明な時、
及び、違法なコピー、加工を見付けられた時は、
以下までご連絡下さい。

Gadget-Project ヘルプデスク

<http://gadget-project.com/helpdesk/>

ヘルプデスクでは、
お問い合わせ 1 件毎に、
『チケット』というもので管理しております。

『チケットの送信』からお願い致します。

ご入力頂きましたメール・アドレス宛に、
メールを送信させていただきますが、
ヘルプデスク『チケットステータス』でも、
履歴をご確認頂けます。

[Gadget-Project Secret メンバー募集]

あなたのサイトにて、
ダウンロードしてもらう方法がよく分からない、
ダウンロード・ページを作ることや、
管理することが面倒だといった場合でしたら、
Gadget-Project Secret Members にご登録頂きましたら、
会員サービスとして、
『ダウンロード・ページ・サービス』も行なっております。

詳しくは、
Gadget-Project Secret メンバー募集
のページをご覧下さい。

Gadget-Project Secret Members
<http://gadget-project.com/>

インターネット・ビジネス

1st STEP

[ドメインとサーバー]

基礎知識と取得時の注意事項



Gadget-Project の瀬尾和弘です。

これから説明させて頂く中で、
専門的用語なども出てきますし、
お分かりになりにくい内容があるかとおもいます。

あなたを混乱させることになってはいけないと思い、
詳しい解説は省いて、
できるだけ簡素に説明させて頂こうと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

-- ドメインとサーバーの基礎知識 --

インターネット上でビジネスをスタートさせるにあたって、まず必要となってくるのが、ドメインとサーバーです。

ご承知の通り、〇〇〇.com や、〇〇〇.jp などのようなものが『ドメイン』と言われるものです。

これは、一般的な店舗で言うと、住所と看板を兼ね備えたようなものです。

そして、実際の店舗の土地に相当するのが『サーバー』です。

ここまではいいですね。

たまに勘違いなされていらっしゃる方がいらっしゃいますので、改めて説明させていただきますと、『ドメイン』と『サーバー』が、元々から一まとまりの塊のように思われてる方がいらっしゃいますが、それぞれ別々に管理されているものです。

『ドメイン』と『サーバー』の関係ですが、ドメイン名でアクセスがあった時に、その求められたデータをサーバーに取りに行くように、ドメイン側ではサーバーに向くように《方向付け》のセッティングをし、一方のサーバーの方ではそれを受けるセッティングをするという、それらをする事で、繋がり、お互いの関係を作っています。

まず『ドメイン』に関してですが、『ドメイン』の取得や管理をしている会社があるのですが、それを、『レジストラ』と言います。

そして、サーバーを貸し出しているのが『ホスティング会社』で、サーバーの貸し出しのサービスのことを、『ホスティング・サービス』と言います。

中には、レジストラとホスティングの両方を提供している会社もあります。

通常ですと、ドメインはレジストラで購入し、サーバーはホスティング会社と契約することになるのですが、レジストラとホスティング・サービスの両方を兼ねてやっているところであれば、ドメインとサーバーの手続きがスムーズに行なわれますので便利です。

ただ、その点だけを見て、手続きが簡単だからと会社を決めてしまわないよう、注意が必要です。

一番しっかりと見ておく必要があるのが、**サーバーの要件**です。

もし、契約も済んだ後で、思ったようなところでなかったりして、他に移りたいとなったら、慣れないと手間取ることになります。

サーバーの管理画面が違ってくることが多いですし、レジストラを変更する手続きのことを『ドメインの移管手続き』と言いますが、その移管手続きですることにもなれば、自分でやらないといけないことが色々出てくる上、なかなか手間も掛かりますから、レジストラもホスティング会社も、最初からしっかりと選ぶようにしましょう。

それでは、ドメインとサーバーの、それぞれの取得時の注意事項を説明させていただきます。

ドメインに関しては、確認しておくことはそうありませんが、サーバーに関しては、慣れない用語等多々おありでしょうから、じっくりとご確認下さい。

-- ドメイン取得前後に確認しておくこと --

ドメインの取得そのものは、手間取ることもなく簡単にできるはずです。

取得時に、取得そのものに関しては特に気を付けるようなこともないのですが、レジストラが余りにも小さいような会社だと注意が必要です。

もし会社が潰れるようなことになると、とても厄介なのです。

なぜなら、ドメインの移管の際には、管理元の移管承認が必要だからです。

過去に、確か、レジストラとホスティングを兼ねた会社だったと思うのですが、経営が破綻し、夜逃げ状態となったため、ドメインを移管したくてもできないようなことになって、騒がれたことがありました。

幸い、夜逃げしたホスティング会社と再販契約のあった会社があって、そこが救済に乗り出して、どうにかなったようですが…。

レジストラとホスティングを兼ねた会社だったので、サーバーは当然ダウンしていますから、商売をしているサイトであったなら、被害は甚大です。

今や、どんな大きなところが倒産しても不思議ではありませんので、避けようがないことではあるのですが、こういう事例もありましたので、いざという時を考え、ドメインに関しては難しいとしても、最低限、サーバーとローカル（自分のパソコンの中）は常に同じ状態を保てば、ファイルは保全できますので、何かしらの対応は採れます。

以上で採り上げた点も含めて、取得後に確認しておいた方がいいこととして、一点あります。

ドメインを、一般的なレジストラで購入した場合、管理画面から、取得した各ドメインの [WHOIS] という項目で、ドメインの登録者情報を見ることができます。

英語での記載ですから、間違いがないか確認することもそうなのですが、レジストラによっては、ドメイン登録をレジストラ名義にしておくこともできますので、自分名義なのか、レジストラ名義なのか、という点を確認しておいて下さい。

レジストラとホスティングを兼ねた会社の場合、その会社によっては、ユーザーがアクセスできるドメインの管理画面がないことがあり、その場合、一般的にはレジストラの名義になっていることが多いです。

ドメインの WHOIS を確認したい場合、それを検索できる一般的なところとしては、

日本ネットワークインフォメーションセンター JPNIC

<http://www.nic.ad.jp/ja/>

があります。

（画面左上の方に、「WHOIS 検索」があります。）

ドメインに関して詳しく知りたい場合も、このサイトが有用です。

jp ドメインに関しては、

JP ドメイン名サービス

<http://jprs.jp/>

があります。

（画面右上の方に、「JP WHOIS」のページへのリンクがあります。）

レジストラが、先程採り上げたような夜逃げ状態にでもなってしまった際、WHOIS がレジストラ名義になっていた場合には、登録者が自分であることの証明は難しいです。

ですから、できる限り、ご自身の情報で登録されることをお勧めします。

ここで注意しておいて頂きたいのが、WHOIS にて、ご自身の情報を公開したくない場合です。

WHOIS は非公開にはできませんし、名前や住所に虚偽の情報を登録すると、登録規則違反となり、ドメインの取り消し、及び削除の対象となりますから、どうしても WHOIS で自分の情報を公開したくないのなら、レジストラ名義にするサービスを利用するしかなく、そこには、上記のようなリスクを抱えていることを知っておいて下さい。

-- サーバー取得時の注意事項 --

レンタル・サーバーに関してですが、料金もマチマチで色々ありますから、利用用途に応じて選べれば、それが一番いいのですが、どういうところを見ておけばいいのか、お分かりになりにくいかもしれませんね。

専門用語も多いので、最低限、この程度は調べておいた方がいいですよ、という点を探り上げていきたいと思います。

サーバーを借りる際には、通常、何も記載がなければ、一つのサーバーを複数の利用者が使うことになり（共有サーバーと言います）、サーバー1台丸々借りる場合には、「専用サーバー」あるいは「占有サーバー」と記載されているのが一般的です。

当然、複数の人が利用する形態の方が、安い価格で利用できます。

この場合、まれに起こることがあるのですが、同じサーバーに入っている人のサイトに使っているプログラムが暴走してしまえば、そのサーバー自体の負荷が大きくなりますから、最悪サーバー・ダウンということになってしまい、その間、アクセスが不可能になってしまいます。

ホスティング会社は、こういうことも管理していますから、何かあれば対応されますが、会社によって、その対応スピードに差があることは理解しておいて下さい。

一般的に、無料であったり格安で提供されているところは、人的リソースを削減している可能性が高いですから、対応が遅くなる傾向は強いと思っておいていいでしょう。

24時間を越えることだってありますし、早い回復を、最初から期待しない方がいいかもしれません。

これ以外にも、もし、サーバーのトラブル等を最小限にしたければ、セキュリティ関連がどうなっているか、これを見てもいいでしょう。

サーバーの回線速度をアピールしているところもありますが（大抵「バックボーン」という言葉で記載されています。）、どこかにボトルネックが生じればそれ以上の速度は出ないのですから、実際に体感するのが一番良い方法です。バックボーン OG という表示は、あくまで目安として思っておいていいかもしれません。

サーバーをどの様に利用するのか、ということなのですが、今では、ブログや SNS といったシステムは当たり前ですし、マーケティング・ツールとして様々なものを使うことも、一般的になりつつあります。

今現在で、これらのものを使う予定がなかったとしても、いいツールが現れて、それを使いたいとなっても、サーバーの要件が満たされていなければ、利用は不可能です。

これらの利用を踏まえてサーバーを選択するならば、PHP と MySQL というものが利用できるサーバーを選択し、更に .htaccess というファイルが利用できる環境であることを確認しておきましょう。
(あと、CGI に関しても、利用できるかどうか、あるいは、Perl のバージョン等、確認しておいてもいいでしょう。)

『 PHP 』に関して確認しておくことは、

1. PHP のプログラムが、
セーフモードでインストールされているのか、そうでないのか。
2. CGI 版なのか、モジュール版なのか。
3. PHP のバージョン

この3点です。

意味がお分かりでないかもしれませんが、1. に関しては、セキュリティの関係と管理上のことから、セーフ・モードで導入しているサーバーがあるのですが、共有サーバー内で、他人のファイルを勝手に書き換えることを防ぐための仕組みだと思って下さい。

PHP がセーフモードでインストールされているサーバーでは、セーフモードを考慮していないプログラムは動作しなかったり、一部使えない機能が出てきたりすることがあります。

2. の「 CGI 版」、「モジュール版」というのは、「 CGI 版」の方は、.php という拡張子の付いたファイルに対し、そのファイルの URL でアクセスした際に、実行ファイルとしてその処理結果を返してくるもので、「モジュール版」というのは、サーバーを動かしている Apache というソフトがあるのですが、そのソフトのモジュールとして、つまり、Apache の一つの機能として動作させるものなんですね。

これらの違いがどういうところに出てくるのかと言いますと、ブログや SNS や、そういった何かのプログラムをサーバーにインストールして動作させる際、特定ファイルにおいて、ファイルの「アクセス権限」というのを設定することがあるのですが（これを「パーミッション」と言います）、このパーミッション・コード（3桁の数字です）が違ってくることもあるのですね。

実際に、それらのプログラムをインストールして、サーバー上で触ってみないと、理解できないかもしれませんが、頭の片隅にでも置いておいて下さい。

何かのプログラムを利用する際、それが動作する条件に、PHP のバージョンも関係してきます。
プログラムの仕様に、「 PHP 4.2 以上」とか記載されています。
ですので、サーバーの PHP のバージョンが幾つになっているのか、確認しておいて下さい。

そして、2つ目の『 MySQL 』というのは、データベースのことです。

他に、『 PostgreSQL 』というのがありますが、『 MySQL 』の方が、一般的です。

ブログや SNS 等のプログラムでは、様々なデータを、この「データベース」に保管します。
そのために必要になってくるんですね。

この MySQL も、バージョンは確認しておいて下さい。

で、ついでに言っておきますと、この MySQL を操作するのに、一般的には、『 phpMyAdmin 』というプログラムで操作します。

ですので、『 phpMyAdmin 』もサーバー上にインストールされている必要があります。（すでにインストールされていたり、サーバーの管理画面からインストールできたりします。）

色々分からない言葉が出てきたかもしれませんが、これらのことは、何となくでもいいですので、理解しておいて下さい。

3つ目の **.htaccess** というファイルですが、このファイルによってサーバーの動きを決定させることができる、重要なファイルです。

特殊なファイルで、.（ドット）から始まる、このままの名称のファイルをサーバーにおいて利用します。

セキュリティ上の観点から、システム側で独自にセキュリティに関して設定してあるところがあり、その場合、.htaccess の設定に制限が掛けられていることがあります。つまり、独自の .htaccess の利用ができないんですね。

ログイン認証やそういう時にも使えるファイルですし、プログラムによっては、そのプログラム自体のログイン時に、プログラム内で設定している .htaccess のファイルを参照するものがありますから、このファイルが利用できる環境かどうかは是非確認しておいて下さい。

あと、先程は特に採り上げませんでしたが、サーバーを管理する上で便利なのが、『cPanel』という、サーバーのコントロール・パネルです。

これがあると、何かとサーバーの管理がしやすいんで、サーバーを色々使いこなしていく上で重宝するツールです。

サーバーの管理画面にログインすると、サーバーそれぞれで管理ツールが違って、使用方法もマチマチなのですが、もし、同程度のサーバーで、どこにするか選択を迷われているようなら、この cPanel があるところが使いやすいですよ。

以上、サーバーの取得時の注意事項を挙げてきましたが、実際に、サーバー上でプログラムをインストールしてみたり、触ってみないと分からないことだらけだと思います。

専門的な言葉も出てきましたが、最低限チェックしておくべきところを記載しましたので、これを参考に、サーバーを選んでみて下さい。

お役に立てれば光栄です。

最後までお読み下さり、ありがとうございました。

Gadget-Project
瀬尾 和弘

Gadget-Project では、
様々なマーケティング関連ツール、
ノウハウ等を提供しております。

メンバー募集中！

まずは、Gadget-Project のサイトをご確認下さい。



Gadget-Project では、
有益な情報のご提供に努めています。

- ・ インターネット・ビジネスに関して
 - ・ サイト作成ノウハウ
 - ・ ソフト、スクリプトといったツール類の販売
 - ・ ノウハウ eBook の販売
 - ・ メルマガ発行
 - ・ ニュース・レター発行
- etc...

発行

Gadget-Project
<http://gadget-project.jp/>

瀬尾 和弘